

第12表

社会福祉施設数・収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

区分	昭和37年		昭和38年			昭和38年		
	施設数	収容人員	施設数			収容人員		
			総数	大阪府が監督するもの	大阪府が監督するもの	総数	大阪府が監督するもの	大阪府が監督するもの
総数	524	-	532	333	199	-	-	-
養老施設	27	2 604	27	22	5	2 678	2 117	561
救護施設	6	406	7	6	1	122	80	42
更生施設	9	1 085	9	1	8	1 098	234	864
宿舎施設	6	707	5	0	5	734	0	734
授産施設	2	30	2	1	1	20	9	11
医療施設	19	1 997	19	13	6	1 627	1 307	320
婦人保護施設	5	174	5	4	1	196	164	32
児童養護施設	6	210	6	3	3	207	44	163
精神薄弱児施設	42	3 251	42	30	12	3 169	789	2 380
精神薄弱児通園施設	8	437	8	5	3	440	157	283
精神薄弱児通園施設	1	47	2	2	0	63	40	23
教養施設	2	334	2	1	1	288	113	175
肢体不自由児施設	1	97	2	2	0	135	68	67
育児施設	1	20	1	0	1	24	11	13
ろう児施設	1	26	1	0	1	27	2	25
児童厚生施設	28	-	29	20	9	-	-	-
助産施設	7	-	7	4	3	19	19	0
母子生活支援施設	25	460世帯	26	19	7	446世帯	328	666
児童相談所	315	20 610	319	190	129	19 127	10 651	8 476
児童相談所	7	997	7	6	1	1 028	516	512
身体障害者施設	3	93	3	2	1	111	97	14
精神障害者施設	1	20	1	1	-	70	70	-
結核回復者後援施設	2	92	2	1	1	91	79	12

資料 大阪府民生部社会課、婦人児童課、大阪府民生局庶務課。

第13表

結婚あつせん状況

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成された各年度中のものである。

年次	相談件数			申込件数			照会組数 (見合)	成立組数
	総数	男	女	総数	男	女		
昭和34年度	18 087	7 090	9 997	2 490	997	1 493	1 451	186
35年度	16 486	7 050	9 436	3 570	936	1 634	2 262	380
36年度	16 596	7 557	9 039	2 709	1 096	1 613	2 312	372
37年度	20 586	9 302	11 287	3 255	1 308	1 947	1 156	232
昭和38年度	12 551	5 792	6 759	3 586	1 410	2 176	1 493	205

資料 大阪府立結婚相談所。

第14表

共同募金額・配分額

各年とも募金額には前年度配分不要繰越金・配分額には経費充当額、次年度運動準備金、繰越配分額が加えられていないため両者の数字は一致しない。

区分	募金額				区分	配分額			
	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和38年		昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和38年
総額	89 555	88 438	102 996	122 096	総額	86 320	73 125	86 278	105 095
戸別募金	60 665	58 549	65 762	73 107	社会福祉施設	26 869	26 486	28 976	27 352
法人募金	6 774	7 550	10 792	7 106	保育所託児所	4 258	3 798	3 478	3 372
学校募金	5 559	5 758	5 963	6 368	隣保館児童館遊園地	2 852	2 231	2 813	3 051
街頭募金	3 544	3 485	4 461	4 900	社会福祉事業団体	1 555	1 455	1 700	1 700
パッチェン	9 447	8 514	9 135	9 386	社会福祉協議会	5 650	5 350	5 950	5 994
その他	3 565	3 632	6 853	21 229	府市社会福祉協議会	8 341	7 468	7 445	7 510
					更生援護資金	24 515	24 151	31 519	35 980
					地域社会福祉協議会	12 280	2 185	4 397	20 136
目標額	70 000	86 000	75 000		その他				

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



### 第22章 衛生

#### 病院、病床等の概況

府下の医療施設は前年の7,123所より160(2.2%)増加し昭和38年末現在では7,283所、人口10万に対しては117施設、1医療施設あたりの人口は855人となり昨年845人に対し10人の増となっている。医療施設総数7,283所の内訳は病院366、一般診療所4,840、歯科診療所2,077でこれら医療施設を有する病床総数は5万8千床、前年の5万5千床に対し約3千床(5.7%)の増加となり、人口10万に対し927床、1病床あたり人口は108人となっている、さらに病床総数の約9%を占める病院の病床数約5万1千床をその区分(一般病床、精神病床、結核病床、伝染病床)によって見ると、一般病床(73%)、結核病床(14%)、精神病床(12%)伝染病床(1%)で結核病床は年々減少の傾向を見せているが精神病床は逆に最近著しく増加している。

38年の在院患者延数(診療所は含まない)は、1,581万8千人で、1日あたり4万3千となり、その内訳は一般病床2万3千人(2.5%)結核病床1万1千人(26.4%)精神病床9千人(20.5%)伝染病床240人(0.1%)である。

新入患者数は年間31万2千人で、その1日あたりでは854人となる一方、年間外来患者数は2,227万人と人口増加とあいまって漸増しており、1日あたりでも6万1千人になり昨年より2千人の増加を見せている。

医療関係従事者のうち府下医療施設に従事する医師は7,565人、同じく歯科医師2,487人、薬剤師(薬局の開設者を含む)2,123人となり、人口10万に対する医療施設に従事する医師は121人、同じく歯科医師40人、薬剤師34人となって昨年よりおのおの微減している。

#### 死亡の概況

出生数は年々増加の傾向を示しているが、死亡数は人口1千に対し34年6.3人、35年6.4人、36年6.2人、37年6.2人、38年5.7人、とこれまた減少の傾向にあって平均寿命も年々ながくなって来ている。

死亡数の上位10傑をみると

「中枢神経の血管損傷」	6.8千人(19.4%)
「悪性新生物」	6.3千人(17.7%)
「精神病の記載のない老衰」	3.2千人(9.6%)
「診断名不明確、不明の原因」	
「動脈硬化性、変性性心臓疾患」	2.7千人(8.2%)

「自動車事故および不慮の事故」	2.1千人(6.2%)
「結核」	1.8千人(5.6%)
「肺炎」	1.2千人(3.6%)
「自殺自傷」	1.1千人(3.2%)
「高血圧性心臓疾患、その他の高血圧疾患」	950人(2.9%)
「肝硬変」	720(2.2%)

の順になって、これらで全体の78.6%を占め成人病の死亡数の割合がまたその大半を占めている。なお「結核」は年々減りはしているものの依然として上位に位している、年末現在の結核登録患者数のこの5年間のうごきは34年15万3千人、35年14万4千人、36年12万4千人、37年11万9千人、39年12万3千人と本年は又ぞろ上昇のきざしが見られる。

#### 伝染病患者の概況

府下における法定指定伝染病患者数は年々減少の傾向にあったが38年では3.7千人と前年より約600人の増をみせた。これは「しょうこう熱」の2月から5月にかけて流行したためである。法定指定伝染病の内訳をみると「赤痢」が2千人弱の(52%)でだん然多く、「しょうこう熱」1.3千人の(36%)でその殆んどを占め、続いて「腸チフス」の(5.3%)「ジフテリア」の(4.6%)の順となっている。指定伝染病である「急性灰白髄炎」(小児まひ)は年々減少をみせていたものの百名あまりの患者を出していたが、37年以降予防ワクチンの投与によって37年は9名、38年は8名とその効果は顕著である。

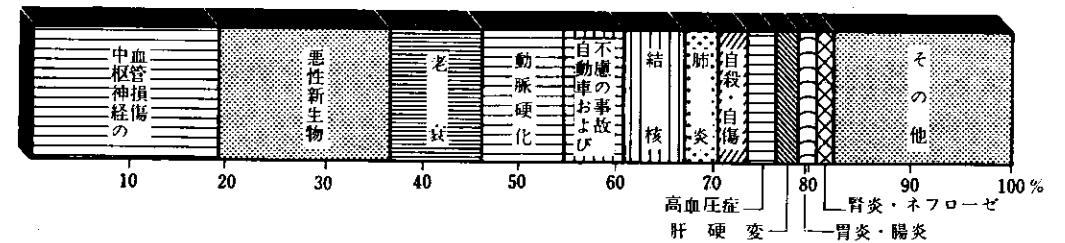
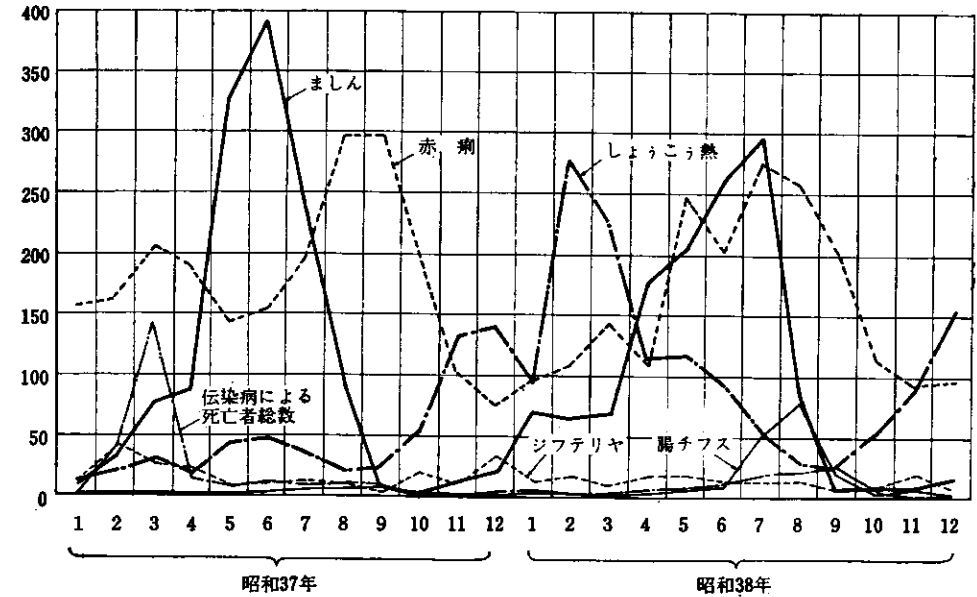
#### 体格

生徒、児童、幼児の発育状況は終戦後順調に回復し、ここ数年来は大型化の一途をたどっている。身長について18才男女の伸長量をみると昭和23年男159.4、女151.0昭和28年男164.2女152.6、昭和33年男163.0女153.5、昭和38年男165.3女154.6となって発育にめざましいものがある。

ついで13歳児についてみると指定統計が実施された昭和23年には男子137.8cm、女子139.6cmであったものが、その後平均して男子0.9cm、女子0.7cm程度伸びて16年後の昭和38年には男子151.9cm、女子150.7cmの身長となっている。昭和23年当時、男子を1.8cm上回っていた女子の身長が11年後の昭和34年には、逆に0.3cm下廻り、昭和38年にはその差1.2cmと大きくなっているが、体重、胸囲、座高は男女ともほとんど平行したのびをみせている。

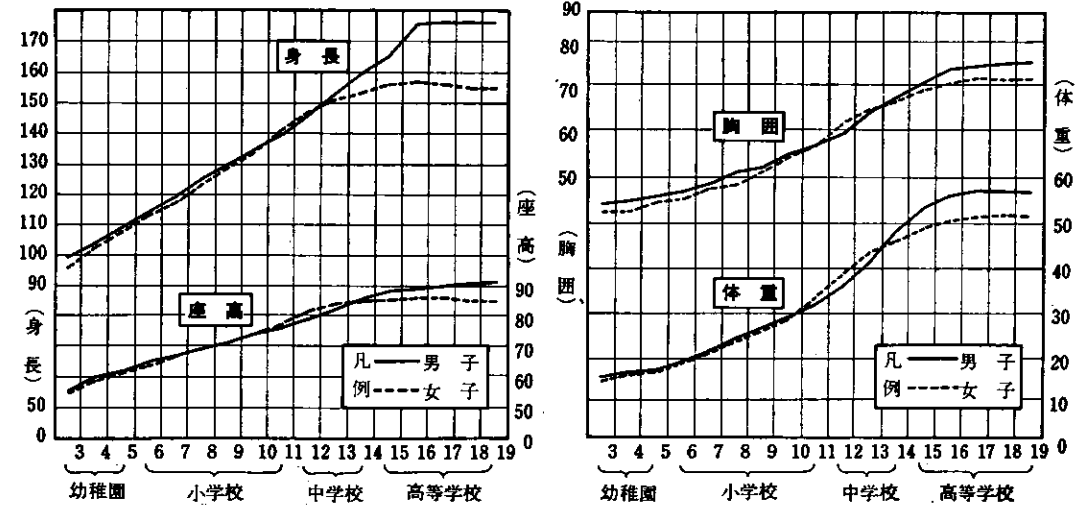
### 伝染病による罹患数と死亡者数

第19表参照



### 年令別に見た幼児・児童・生徒の平均体位

第24表参照



第1表

病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお、「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。

Table with columns for year (昭和34-38), hospital types (精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院), and bed counts (施設病床, 施設病床, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」「医療施設調査」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科衛生士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるものである。なお、獣医師数(居住地主義)を除いて、いずれも従業地主義によるものである。

Table with columns for year (昭和34-38), professions (医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士, 獣医師), and counts (総数, 医療施設開設者, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、同農林部畜産課、厚生省大臣官房統計調査部「医療施設調査」「衛生行政業務報告」

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。なお37年の助産婦の※印は37年8月「開業助産婦実態調査」にもとづくものである。

Table with columns for year (昭和34-38), professions (薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 准看護婦, 看護人), and counts (総数, 薬局開設者, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「医療施設調査」「衛生行政業務報告」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者。衛生管理者数は労働基準法による免許証所有の専業者。栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したものである。乳業士数は「乳等の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種、乙種の免許証所有者。眼鏡士数は大阪目衛生協会への登録者。調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者。あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和34-38), professions (診療X線技師, 衛生検査技師, 衛生管理者, 栄養士, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は(1日当り平均在院患者数/年末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和34-38), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and bed utilization rates (総数, 精神病床, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和34-38), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and patient counts (新入院患者数, 外来患者延数).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」「病院報告」

第7表 人工妊娠中絶件数

本表の数字は優生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table with columns for year (昭和34-38), age groups (20歳未満, 20~24歳, etc.), and abortion counts.

資料 大阪府衛生部医務課「人工妊娠中絶半年報」

第8表 食品衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和34-38), facility types (飲食店営業, 喫茶店営業, etc.), and counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課。

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、牛乳処理業数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。乳牛検査実頭数は家畜伝染病予防法にもとづく検査頭数、ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of farms, inspection counts for various animals, dairy processing, rabies prevention, and rat capture.

資料大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部畜産課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数 (1)

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。客室については概数である。

Table showing environmental hygiene related business facilities and staff counts, categorized by facility type and staff count.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第11表 環境衛生関係営業施設数 (2)

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、くず物関係営業施設数は「大阪府くず物営業取締条例」にもとづく許可施設数である。

Table showing environmental hygiene related business facilities, including waste management and other specific categories.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第12表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table showing tuberculosis prevention health check status, including number of examinees and various medical metrics.

資料大阪府衛生部予防課、厚生大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第13表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有罪者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table showing STD, vaccination, parasites, and trachoma prevention status, including numbers of examinees and those vaccinated.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of extended health examination cases, categorized by type of examination.

資料大阪府衛生部環境衛生課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第15表 薬事法関係業者数

本表の医薬品販売業のうち「一般」とは総ての医薬品について販売できる薬剤師の管理している業者「薬種商」とは法律に定められた指定医薬品を除くものの取扱をする薬種商の資格のある業者、「配置」とは置き薬として認められた置き薬業者「特例」とは法律で定められた特定の品目のみを取扱う資格を要さない業者( )内の数字は内数で衛生材料製造業

Table showing the number of pharmaceutical related business operators, categorized by type of business.

資料大阪府衛生部業務課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 麻薬中毒者数

本表は本府でまとめた数字である。

Table showing the number of opiate addicts, categorized by age and gender.

資料大阪府衛生部業務課、厚生大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第17表 市区町村別公害防止条例に基づく届出件数と公害陳情件数

本表の数字は各年度ごとに本府でまとめたもので、公害防止条例による届出件数の表頭「取りやめ」とは「新設、増設、変更」等の作業をするにあつて公害防止条例にもとづき届出た「新設、増設、変更」等を取りやめる届出をしたという意味である。

Table with columns for '市区町村' (Municipality), '公害防止条例に基づく届出件数' (Number of notifications under the law), and '公害陳情件数' (Number of public complaints). It lists various municipalities like 昭和三十四年度, 昭和三十五年, etc., and their respective counts for different types of notifications and complaints.

第17表 市区町村別公害防止条例に基づく届出件数と公害陳情件数 (続)

Continuation of the table from the previous page, listing municipalities such as 田尻町, 泉南東部, 南河内郡, etc., and their notification and complaint statistics.

資料 大阪府商工部公害課。

第18表 大阪市内主要河川の水質調査経年事変

pH: 水素イオン濃度指数...水の酸性、アルカリ性の程度を示すもので値が7.0のとき中性、これより高いものはアルカリ性低いのは酸性である。
COD: 化学的酸素要求量...水中の炭酸化合物、主として有機物の量を消費した酸素量を示すもので過マンガン酸カリウムや重クロム酸カリウムなどの酸化剤によつて酸化される酸素消費量によつて表わされる。
BOD: 生物化学的酸素要求量...好気性生物の化学反応により水中の有機物を分解する際に消費する溶解酸素量のことである。河川ではBOD値は4 ppm以下5 ppm以上のものは何らかの形で汚濁が加えられているものと考えられる。

Table showing water quality survey data for major rivers in Osaka City. Columns include '調査箇所' (Survey location), '調査年月' (Survey date), and various water quality parameters like '濁度' (Turbidity), '色度' (Color), '透視度' (Transparency), 'PH', '塩素イオン' (Chloride ion), '溶解酸素' (Dissolved oxygen), '消費量' (Consumption), 'COD', 'BOD', '蒸発残留物' (Evaporated residue), '浮遊物' (Suspended matter), '細菌' (Bacteria), and '大腸菌群' (Coliforms).

第 10 表

大阪市内主要河川の水質調査経年事変 (続)

Table with 16 columns: 調査箇所, 調査年月, 濁度, 色度, 透明度, PH, 塩素イオン, 溶存酸素, 透酸素消費量, COD, BOD, 蒸発残留物, 浮遊物, 細菌数, 大腸菌群. Rows include locations like 寝屋川, 堂島川, 天神橋, 土佐堀川, 天神橋(左).

※印は満潮時採水のため平均値計算にはこれを除く。

第 10 表

大阪市内主要河川の水質調査経年事変 (続)

Table with 16 columns: 調査箇所, 調査年月, 濁度, 色度, 透明度, PH, 塩素イオン, 溶存酸素, 透酸素消費量, COD, BOD, 蒸発残留物, 浮遊物, 細菌数, 大腸菌群. Rows include locations like 東横堀川, 道頓堀川, 幸西橋, 木津川, 松渡.

資料 大阪市立衛生研究所。

第19表

法定・指定伝染病患者

本表の数字は医師の届出数を集計した「伝染病統計」によつたもので、患者は真確のみ、死亡者は疑似である。罹患率は人口10万対で表わしているが毎月については算出してない。また、コレラ、痘そう、発し

数、罹患率および死亡者数

含んでいる。なお、昭和37年の数字は本府で集計した概数であるが、(a)についての各年の内訳は同様に概数でんチフス、ペストは各年とも該当がないので省略した。

年 月 中	法 定 伝 染 病														
	総 数			(a) 赤 痢									腸 チ フ ス		
				計			細菌性赤痢		アメーバ性赤痢		え き 痢				
	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	罹患率	死者
昭和 34 年	4 187	79.6	133	2 855	54.2	79	2 662	36	11	3	182	37	108	2.1	4
35	4 012	73.0	124	3 026	55.0	82	2 807	33	10	1	209	50	82	1.5	5
36	3 634	63.1	93	2 892	50.2	47	2 713	27	6	-	173	20	80	1.4	5
37	3 118	52.1	51	2 181	36.4	25	2 092	16	2	-	87	9	54	-	-
昭和 38 年	3 738	60.0	67	1 955	31.4	31	1 850	19	6	-	99	12	199	3.2	1
1 月	212	-	6	99	-	4	96	1	-	-	3	3	5	-	-
2	424	-	1	119	-	-	116	-	-	-	3	-	4	-	-
3	385	-	2	142	-	2	134	1	2	-	6	1	1	-	-
4	254	-	7	111	-	5	104	4	-	-	7	1	5	-	-
5	401	-	3	249	-	2	239	1	-	-	10	1	9	-	-
6	329	-	4	201	-	4	185	1	1	-	15	3	13	-	-
7	396	-	6	272	-	1	250	1	-	-	22	-	50	-	-
8	393	-	13	264	-	5	253	4	1	-	10	1	75	-	-
9	279	-	23	200	-	7	187	5	1	-	12	2	20	-	1
10	193	-	1	121	-	-	116	-	-	-	5	-	5	-	-
11	210	-	-	87	-	-	86	-	-	-	1	-	9	-	-
12	262	-	1	90	-	1	84	1	1	-	5	-	3	-	-

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

第20表

届出伝染病患者数、罹

前表頭注参照のこと。なお、黄熱、狂犬病、つづが虫病、回帰熱、住血吸虫病は各年とも該当がないので

年 月 中	届 出 伝 染 病 患 者 数 、 罹 率											
	総 数			マ ラ リ ア			ま し ん			百 日 せ き		
	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者
昭和 34 年	5 731	109.8	167	2	0.0	-	5 021	95.3	102	325	6.2	11
35	15 380	279.4	231	2	0.0	1	1 128	20.5	7	133	2.4	3
36	10 571	184.4	119	13	0.2	-	1 876	32.8	45	183	3.2	3
37	26 755	447.1	242	1	0.0	-	1 290	21.6	34	211	3.5	3
昭和 38 年	1 388	22.3	52	4	0.1	-	1 282	20.7	38	65	1.1	2
1 月	72	-	2	-	-	-	69	-	1	1	-	-
2	71	-	3	-	-	-	65	-	2	4	-	-
3	75	-	2	1	-	-	68	-	1	5	-	1
4	177	-	2	-	-	-	172	-	1	3	-	-
5	228	-	8	-	-	-	212	-	8	8	-	-
6	270	-	11	1	-	-	265	-	9	3	-	-
7	312	-	12	-	-	-	293	-	9	17	-	1
8	88	-	6	1	-	-	74	-	6	9	-	-
9	24	-	1	1	-	-	10	-	-	8	-	-
10	29	-	5	-	-	-	16	-	1	7	-	-
11	18	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-
12	24	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

染 病															指 定 伝 染 病					
パ ラ チ フ ス			し ょ う 紅 熱			ジ フ テ リ ア			流 行 性 脳 脊 髄 炎			日 本 脳 炎			急 性 灰 白 髄 炎					
患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者
17	0.3	-	356	6.8	4	775	14.7	20	31	0.6	4	45	0.9	22	159	3.0	10			
10	0.2	-	302	5.5	-	506	9.2	6	32	0.6	7	54	1.0	24	133	2.4	6			
8	0.1	-	259	4.5	1	315	5.5	5	37	0.6	9	43	0.8	26	110	2.1	10			
4	-	-	588	9.8	1	242	4.0	4	28	0.5	3	21	0.4	18	9	0.2	3			
7	0.1	1	1 337	21.5	2	172	2.8	2	29	0.5	5	31	0.5	24	8	0.1	1			
2	-	1	93	-	-	12	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
1	-	-	278	-	1	21	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	223	-	-	11	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-			
-	-	-	118	-	-	17	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	1			
-	-	-	122	-	-	17	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-			
-	-	-	97	-	-	14	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-			
1	-	-	54	-	1	12	-	-	2	-	1	3	-	3	2	-	-			
2	-	-	28	-	-	13	-	1	5	-	1	6	-	6	-	-	-			
-	-	-	26	-	-	10	-	-	3	-	1	19	-	14	1	-	-			
-	-	-	53	-	-	10	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-	-			
-	-	-	93	-	-	19	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-			
1	-	-	152	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

患率および死亡者数

省略した。

インフルエンザ			破 傷 風			炭 そ			伝 染 性 下 痢 症			フ ィ ラ リ ア 病		
患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者	患者	罹患率	死者
343	6.5	30	38	0.7	22	-	-	-	1	0.0	1	1	0.0	1
14 087	255.9	197	30	0.5	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 459	148.0	40	38	0.7	31	1	0.0	-	-	-	-	1	0.0	-
25 228	422.4	187	24	0.4	14	-	-	-	-	-	-	1	0.0	-
10	0.2	4	23	0.4	8	-	-	-	-	-	-	4	0.1	-
1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
2	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第 21 表

性病・トラホーム・結核・らい・食

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである。

Table with columns for Year/Month, Sex, Disease (Total, Venereal, Syphilis, Gonorrhea, Soft chancre, Tuberculosis, Leprosy, Trachoma), and Patient/Rate/Death counts.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣統計調査部「衛生年報」「伝染病簡速統計週報」

第 22 表

市 郡 別、年 齢 階

本表は「人口動態調査」によつた府下在住の日本人に於けるもので府外で死亡したものも含まれる。

Table with columns for City/Town/Village, Total, and age groups (1-4, 5-9, 10-14, 15-19, 20-24, 25-29, 30-34).

中毒患者数、罹患率および死亡者数

Table showing poisoning statistics by category (All, Tuberculosis, Respiratory, Other), with columns for Patients, Incidence Rate, and Deaths.

級 別 死 亡 者 数

なな昭和37年の数字は本府で集計した概数である。

Table showing death counts by age group (35-39, 40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80+, and Undetermined).





第24表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下学童の平均体格を示しているが、この調査は府下学校総数から、昭和38年については幼稚園10分の1、小学校18分の1、中学校12分の1、高等学校10分の1の無作為抽出によるものである。なお、昭和25年はしつ皆調査である。

Table with columns for age (年 齢), sex (男 子, 女 子), and physical measurements (身長, 体重, 胸囲, 座高) for various years (昭和25年, 昭和30年, 昭和38年).

資料 大阪府企画部統計課。

第25表 幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。比体重=体重÷身長×100 比胸囲=胸囲÷身長×100 比座高=座高÷身長×100 で小数点2位を4捨5入してある。

Table showing relative body weight, chest circumference, and sitting height for different age groups (幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校) and years (昭和33年, 昭和38年).

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

第26表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を示す。なお、ゴシツク体は受検率である。

Table showing the percentage of children with various diseases and abnormalities (e.g., malnutrition, scoliosis, eye diseases, ear diseases, infectious diseases, etc.) across different school levels and years.

資料 大阪府企画部統計課(学校保健統計調査)

摂取栄養量(1人1日当り)

「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回(5、8、11月および翌年2月の各月とも連続した3日間の状況)である。栄養量はすべて調理による損耗を考慮していない。昭和29年3月栄養基準の成分表の改訂が行われた30年以降は表の数値に変動がある。

Table with columns for year (昭和24-30), unit, and nutrient type (数熱蛋, 質, 植物, 脂肪, ビタミン). Rows include macronutrients like protein, fat, and minerals like iron.

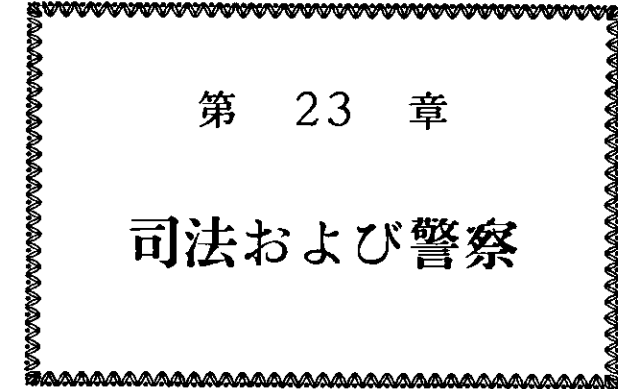
資料 大阪府衛生部食品衛生課「国民栄養調査」

第28表 府県別医療施設関係者数

本表は各年末現在数で、1)、2)、3)は実務に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Large table listing medical facility staff counts by prefecture (府県) and year (昭和32-36). Columns include staff types like doctors, dentists, pharmacists, and nurses.

資料 厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」



第23章

司法および警察